



題字 井口 文章
再刊 第309号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2019

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面：現生徒会が語る錦城高校の今
迫る生徒会選挙、今年からの試みとは
二面：今話題のラグビーを写真付きで解説！
錦城高校ラグビー部を追う

今期生徒会、最後の大事な仕事へ

代議員会でも議論活発化

10月9日(水)に開かれた代議員会では、ペットボトル自販機設置問題を中心に据えて活発な議論がなされた。今期生徒会は任期終了を目前にしながらも、アンケートを実施するなど具体的な動きを見せている。生徒会長・副会長へのインタビューを通じ、これからの課題や次期生徒会への改善点が明らかになった。



ペットボトル自販機設置に伴い生じる問題点を話し合う

つてきたスポーツドリンクが途中でなくなってしまうことがあるからペットボトル自販機を設置してほしい」といった意見があったそうだ。

7月に生徒会長からペットボトル自販機設置について動きたいと話があり、9月頃から生徒会本部の話し合いに代議員が参加し、具体的に動き出した。現在の進捗状況は「まだ序盤です」と三井さんは話す。年内に設置することを目標としている。

長松千冬くん(3B)が、ペットボトル自販機設置に向けて代議員が行ったクラスアンケートの内容や、現時点での決定事項などを話した。次に、制服の改善要望の声を代議員が聞き取った。

代議員会終了後、議長を務めた三井飛鳥さん(2G)に話を聞いた。ペットボトル自販機の課題について動き出したのは今年の7月頃。学校には紙バックや紙コップの自販機しか設置されておらず、ペットボトルは校門前の自販機やコンビニで買ってから登校しなければいけないのが大変。「長期休み中の部活動で、持

年内に設置することを目標としています。生徒会会長の松本千冬くん(3B)に、ペットボトル自販機設置の進捗状況について話を聞いた。現時点では、先日各クラスで行われたアンケートの結果を基に集計を進めている。その後は集計結果を先生に提出し、反対多数やペットボトル自販機の導入による大きな問題の指摘などが無ければ、そのまま自販機を設置する予定だ。松本くんは任期終了まで何らかの返答を貰うかたちまで進めたいという。「自販機を今期中に設置するのは難しいですね。問題に取り組み始めています」と呼びかけた。

候補者募集に選管奔走

10月8日(火)から10日(木)に錦城高校新聞の告知が昼休みの定時連絡放送で行われた。生徒会本部役員5人がそれぞれの役割の仕事を人それぞれ説明する初試みであった。

また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。

また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。

また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。

また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。

また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。

また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。

また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。

また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。

合唱祭に向けて始動

10月5日(土)、合唱祭に向けて各クラスの希望曲が提出された。希望が重なっているクラスについては、次の委員会で調整を行う予定だ。

合唱祭実行委員長の細川遥菜さん(2G)は、1年生は音楽、美術、書道とクラスが分かれているため、音楽クラス以外のモチベーションが下がってしまうことを問題にあげた。しかし、クラスメイトと団結して練習をすることで、誰にでもチャンスが訪れるのが合唱祭の魅力。「今年、『全員参加型の合唱祭』を目指して、呼びかけなどもしていくつもりです。みんなを盛り上げられるように工夫したい」と細川さんは決意を述べた。

また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。

現生徒会への意見は10月中に!



また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。

また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。

また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。

むらさき草

雨が降ったら「あいくの雨」と思うか「恵みの雨」と思うか。友達に勉強を教えると言われたら「面倒くさい」と思うか「役に立ってる」と思うか。あなたはネガティブと、ポジティブどちらを選ぼうか。もう2学期もあつという間に中間試験前。多くの錦城生は勉強に部活に進路に、と「情熱、友情、青春」の日々だと思ふ。とはいえ毎日続く錦城生活。ふと同じ毎日の繰り返しで「つまらない」と感じることもないだろうか。▼アップルの創業者であるスティーブ・ジョブズは毎朝、鏡の前で「もし今日が人生最後の日でも、今からしようとしていることをするだろうか」と自身に問いかけたという。▼自分からどうすれば、悔いなく楽しい毎日を送れるだろうか。▼父の仕事の関係で、引っ越しを8回経験した。最初のうちは、知り合いが1人もいなくて息苦しくて、どうしても自分からはやくは挨拶も、声も怖くかけられないというネガティブ思考に陥っていたと思う。▼けれども、小学2年生の時に読んだ新聞のコラムに載っていた「感謝の言葉は知らない人にもすぐに届く、自ら行動すればあつという間に世界は変わる」という言葉がネガティブ思考をポジティブ思考に変えてくれた。それならできる、と思つて些細なことでも「ありがとう」と感謝の言葉を伝えるようになっていくと、友達を作ることが自然と出来るようになっていく。▼悔いなく楽しい毎日を送るには「ポジティブ思考」が欠かせない、と思う。▼錦城名物である毎日の小テストも正直「だるい」のだが、ポジティブに捉えれば勉強のきっかけを作り、自分を成長させるためのチャンスだと思ふことができるかもしれない。明日からも続く錦城生活、ネガティブな日々とするかポジティブな日々とするか、あなたはどちらを選択しますか。

新しい高校新聞を目指して

前回の特集に続く錦城高校 300号突破記念企画第2弾。各代の委員長の思いと共に、これからの錦城高校新聞のあるべき姿について話し合ってもらった。

錦城高校新聞のあるべき姿について語り合う歴代委員長

10月10日(木)に今年度の歴代委員長が一堂に集まり、錦城高校新聞のあり方について語り合った。歴代委員長からは、紙媒体からデジタル化への移行や、取材の徹底など、様々な意見が述べられた。

また、立候補者の決定後、今年から昇降口付近に選挙ポスターを掲示する予定であること、昨年同様、実際の選挙で使われる投票箱を小平市から借りることを明かした。投票箱はこれからの借りていきたいと思っているそうだ。